

令和2年度第2回宮城県地域医療構想調整会議（仙台区域）

日 時 令和3年1月29日（金）
午後5時30分から午後7時00分まで
場 所 県行政庁舎4階特別会議室

次 第

- 1 開 会
- 2 挨 拶
- 3 議 事

- (1) 病床機能再編支援補助金について・・・・・・・・・・・・・・・・資料1
(2) その他

- 4 報 告

宮城県地域医療構想推進支援事業について・・・・・・・・資料2

- 5 そ の 他（情報提供）

「地域連携薬局」及び「専門医療機関連携薬局」の認定制度について・・・資料3

- 6 閉 会

< 配 付 資 料 >

-
- (資料1-1) 病床機能再編支援補助金について
(資料1-2) 病床機能再編支援補助金を申請予定の医療機関（仙台区域）の事業計画（案）について
(資料2) 二次医療圏別の概況について
(資料3) 「地域連携薬局」及び「専門医療機関連携薬局」の認定制度の御案内

令和2年度第2回宮城県地域医療構想調整会議(仙台区域) 出席者名簿

【委員】

(順不同・敬称略)

分野	No	氏名	所属	備考
医師会	1	橋本 省	宮城県医師会 副会長	副座長・宮城県行政庁舎
	2	安藤 健二郎	仙台市医師会 会長	座長・宮城県行政庁舎
	3	熊谷 明	亶理郡医師会 会長	自院等
	4	真嶋 光	岩沼市医師会 会長	自院等
	5	丹野 尚昭	名取市医師会 会長	自院等
	6	赤石 隆	宮城県塩釜医師会 会長	自院等
	7	新海 準二	黒川医師会 会長	自院等
歯科医師会	8	小菅 玲	仙台歯科医師会 会長	宮城県行政庁舎
	9	遠藤 裕三	岩沼歯科医師会 会長	自院等
	10	郷家 敏昭	塩釜歯科医師会 会長	自院等
薬剤師会	11	北村 哲治	仙台市薬剤師会 会長	宮城県行政庁舎
	12	森 建夫	岩沼薬剤師会 会長	欠席
	13	吉田 平太郎	塩釜地区薬剤師会 会長	自院等
	14	笠原 純子	黒川薬剤師会 会長	宮城県行政庁舎
看護協会	15	岩渕 富美子	宮城県看護協会 仙台南支部理事	欠席
病院	16	富永 悌二	東北大学病院 院長	自院等
	17	上之原 広司	国立病院機構仙台医療センター 院長	宮城県行政庁舎
	18	永野 功	国立病院機構宮城病院 院長	自院等
	19	近藤 丘	東北医科薬科大学病院 院長	宮城県行政庁舎
	20	富山 陽介	坂総合病院 院長	自院等
	21	奥田 光崇	仙台市立病院 院長	自院等
保険者	22	後藤 善征	全国健康保険協会宮城支部 企画総務部長	自院等
	23	岩渕 昇	健康保険組合連合会宮城連合会 常任理事	宮城県行政庁舎
保健所	24	下川 寛子	仙台市健康福祉局 次長 兼 保健所 所長	自院等
	25	西條 尚男	宮城県塩釜保健所 所長	自院等

【地域医療構想アドバイザー】

氏名	所属	備考
藤 森 研 司	東北大学 大学院 医学系研究科・医学部 教授	自院等
石 井 正	東北大学病院 総合地域医療教育支援部 教授	自院等
橋 本 省	宮城県医師会 副会長	再掲

【東北厚生局】

氏名	所属	備考
竹 蓋 智 一	厚生労働省 東北厚生局 健康福祉部 医事課 地域医療構想等推進専門官	宮城県行政庁舎

【事務局】

氏名	所属
佐 々 木 真	宮城県 保健福祉部 医療政策課長
千 葉 良 信	同 保健福祉部副参事 兼 医療政策課 課長補佐(総括担当)
日 野 貴 広	同 保健福祉部 医療政策課 課長補佐(企画推進班長)
高 橋 令 子	同 薬務課 技術主幹(監視麻薬班長)

1. 開 会

○司会

ただいまから、令和2年度第2回宮城県地域医療構想調整会議(仙台区域)を開催する。

2. 挨拶

○司会

開会にあたり、県保健福祉部医療政策課長の佐々木からご挨拶申し上げます。

○佐々木県保健福祉部医療政策課長

【挨拶】

3. 議 事

○司会

本日の調整会議の座長は、仙台市医師会安藤会長にお願いしている。

○安藤座長

次第に従い議事を進める。(1)病床機能再編支援補助金について事務局から説明をお願いします。

○事務局

【資料1により説明】

○安藤座長

ただいまの説明について、仙台整形外科病院から説明をお願いします。

○仙台整形外科病院

一点補足する。当院は昭和61年、今から35年ほど前に開院したが、今現在病棟が3つあり、急性期病床が61床と64床で125床の、回復期リハが54床になっている。定期的に厚生局に施設基準を確認いただく際も、1病棟は50名が望ましいということで、今回49床と49床、合わせて98床の急性期病床、48床の回復期リハ病床とし、おおむね50床を切った病棟編成で対応することを補足とさせていただきます。

○安藤座長

続いて、ただいまの説明について、仙台西多賀病院から説明をお願いします。

○仙台西多賀病院

先ほどの説明に補足をさせていただく。既に運営上では今年の11月24日から病棟集約を実施しており、従来通りの医療提供はできている。昨年度以前は医師不足もあったが、現在は医師も確保され医療法上の充足も満たしており、昨年度に比べると手術件数も増加している。患者数についても事業計画に記載のとおり医療技術の進歩により、平均在院日数が短縮され、夜の24時を起点としてカウントする在院患者数は減少しているが、入院患者数や退院患者数などの取り扱い患者数は増加傾向にあり、効率の良い運用ができています。また、医療法においては正式に2月1日付けで40床を削減することで厚生局へ届出済みである。以上、集約後を含めた補足説明をさせていただいた。

○安藤座長

ただいまの説明について質問等があればお願いします。

○橋本副座長

仙台整形外科病院の最近の病床稼働率が何パーセント程度か伺いたい。

○仙台整形外科病院

52%程度である。

○橋本副座長

仙台西多賀病院はいかがか。

○仙台西多賀病院

集約後80%程度を保っている。

○安藤座長

ほかに質問がなければ、項目(1)については、これで終了とする。

○安藤座長

続いて、(2)その他、皆様から何かあるか。

特にないようなので、これで終了とする。

○安藤座長

続いて、宮城県地域医療構想推進支援事業について、事務局から説明をお願いします。

○事務局

本事業は昨年度から実施したものであり、各医療圏の概況をまとめることと、個別の公立病院のコンサルティング支援を行うことを目的としている。株式会社日本経営及び七十七銀行に委託しており、資料の詳細については、株式会社日本経営から説明いただく。

○株式会社日本経営

【説明】

○安藤座長

ただいまの説明について質問等があればお願いします。

○後藤委員

前回11月の会議において、病床機能報告対象機関で、この会議に出席していない民間医療機関が相当数あるので、そうした機関を含めて共通認識を深めるよう宮城県として取り組むことを要望した。そうした観点から先週今週の他の区域において、今回の資料2「2次医療圏別の概況について」をどう活用するのか伺ったところ、県としてホームページ公開を予定しているとのことであった。ホームページ公開もお願いしたいが、仙台区域はこの会議に出席していない病院・診療所が多いことから、情報共有のためにも今回の資料2「2次医療圏別の概況について」をお配りすることを重ねてお願いしたいと思う。この資料のさらなる活用によって、議論を活性化して、連携や機能分担が円滑に進むよう要望する。以前の会議において、県民に地域医療構想について理解していただくため更なる周知・広報を要望したが、協会けんぽでは事業所の社会保険担当者約5千人に対し、地域医療構想に関するアンケートを実施している。アンケートの集計がまとまり次第県に情報提供するので、県民の声としてご利用いただき、今後の広報に活かして欲しい。

○事務局

前回の調整会議においても民間病院に対する情報提供や参画に関するご提案があったと受け止めている。今回調整会議で活用した資料については、引き続き県のホームページで公開することを予定しているが、より多くの関係者の皆様にこの資料がご覧いただけるように、機会をとらえて周知を図っていきたいと考えている。

○赤石委員

私の病院のことで恐縮だが、ほかのところについては名前が記載されているが、資料2の17ページについて、この地区の病院のデータが当院だけ抜けているように思えるが、当院がデータを提出していないのか。

○株式会社日本経営

このデータは2018年に医療機関から提出された、2017年時点のデータになるので、もしかするとその時期に提出されていないのかもしれない。

○安藤座長

在宅診療等については、仙台市は在宅専門の診療所が歴史的に早く立ち上がり、全国でも非常に先進的な取り組みがなされているが、そうすると逆に一般の診療所が在宅診療に乗り出し難いこともあるので、仙台市医師会としては、在宅を専門にやっている先生に同行して研修すること等を考えており、今コロナでストップしてしまっているが、在宅診療になるべく出かけていただく取り組みをしていこうと思っている。

ほかに質問がなければこれで終了とする。

続いて、「地域連携薬局」及び「専門医療機関連携薬局」の認定制度について、事務局から説明をお願いします。

○事務局

【資料3により説明】

○安藤座長

ただいまの説明について質問等があればお願いします。

特にないようなので、これで終了とする。

ほかに、皆様から何かあるか。

地域医療構想アドバイザーの藤森先生から何かあるか。

○藤森地域医療構想アドバイザー

新しい資料で大変勉強になった。仙台医療圏は大学病院も2つあり、平時であれば高度急性期・急性期ともに本当に心配がなく、全国の平均よりも上の地域であるが、一方でこれから増える高齢者に対して回復期や在宅が圧倒的に不足するだろうということになるので、本来これからの議論の中心は急性期ではなく、回復期あるいは在宅になるのだと思う。であるからぜひ、回復期を中心に急性期・在宅・介護・慢性期がリンクするよう議論をぜひ進めていければと思うのでよろしくをお願いします。

○安藤座長

地域医療構想アドバイザーの石井先生から何かあるか。

○石井地域医療構想アドバイザー

今日は大変勉強になり、感謝申し上げます。改めて仙台医療圏は、それほど大きくない病

院でも急性期病床を持っているところが多いのだという印象があり、おそらくみなさんご存じだとは思いますが、そういったところがこれからの高齢化社会を迎えて、回復期にどう転換していくのかがやはり大きな課題になっていくのかと思った。

○安藤座長

地域医療構想アドバイザーの橋本先生から何かあるか。

○橋本副座長

藤森地域医療構想アドバイザー、石井地域医療構想アドバイザーがおっしゃったことと同じで、仙台区域の場合には、急性期病院の数も多く、医師も多いということで急性期病床も自ずと多くなるのだと思うが、今回2つの病院から急性期病床削減の話があったように医療の進歩に伴い、おそらく急性期病床をたくさん持っている病院としてもなかなか維持できなくなるのではないかと思うので、そういったことを考えると自ずと急性期病床と回復期病床の境目というのがだんだんなくなっていき、自然と回復期が増えてくるのではないかと考えていた。仙台区域については、あまり大きな心配はないような気がするが、これからも推移を見守っていきたいと思う。

○安藤座長

そのほか、事務局から何かあるか。

○事務局

本日の会議資料及び議事録については、後日、県のホームページに掲載する予定なので、了承願う。

○安藤座長

皆様の協力で無事、調整会議を終了することができた。司会進行を事務局に返す。

4. 閉 会

○司会

以上をもって、令和2年度第2回宮城県地域医療構想調整会議(仙台区域)を終了する。